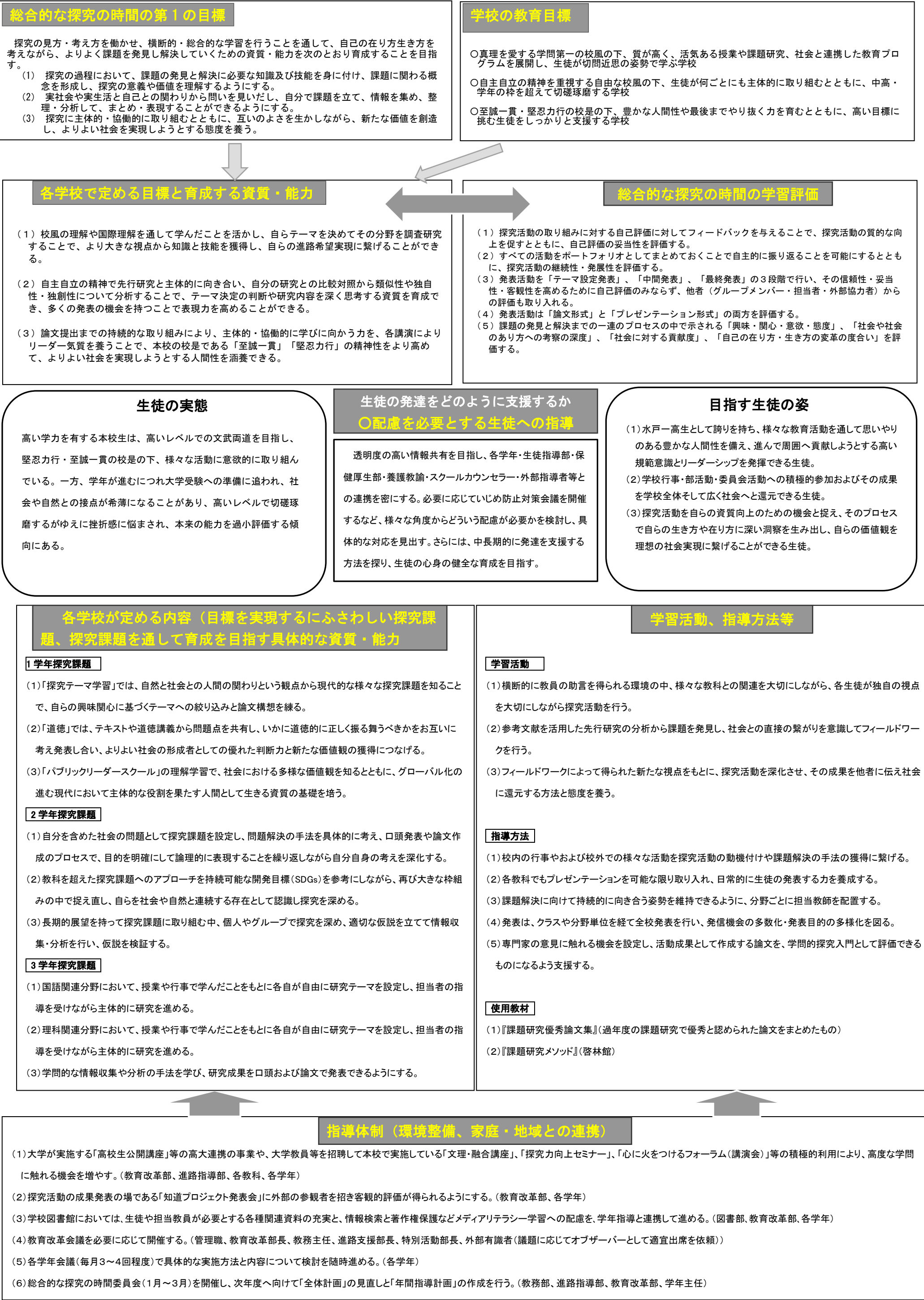




指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

(1)大学が実施する「高校生公開講座」等の高大連携の事業や、大学教員等を招聘して本校で実施している「文理・融合講座」、「探究力向上セミナー」、「心に火をつけるフォーラム(講演会)」等の積極的利用により、高度な学問に触れる機会を増やす。(教育改革部、進路指導部、各教科、各学年)

(2)探究活動の成果発表の場である「知道プロジェクト発表会」に外部の参観者を招き客観的評価が得られるようにする。(教育改革部、各学年)

(3)学校図書館においては、生徒や担当教員が必要とする各種関連資料の充実と、情報検索と著作権保護などメディアリテラシー学習への配慮を、学年指導と連携して進める。(図書部、教育改革部、各学年)

(4)教育改革会議を必要に応じて開催する。(管理職、教育改革部長、教務主任、進路支援部長、特別活動部長、外部有識者(議題に応じてオブザーバーとして適宜出席を依頼))

(5)各学年会議(毎月3～4回程度)で具体的な実施方法と内容について検討を随時進める。(各学年)

(6)総合的な探究の時間委員会(1月～3月)を開催し、次年度へ向けて「全体計画」の見直しと「年間指導計画」の作成を行う。(教務部、進路指導部、教育改革部、学年主任)